

SWELLの装飾を AIエージェントに覚えさせて入稿

吹き出し・枠・マーカー・ボタン・FAQ。WordPressのテーマ「SWELL」の装飾は、AIに「**SWELLの装飾で書ける？**」と聞いて、**テスト記事を1本書かせ、崩れていない部品だけを「型集」に固定してもらう**と、次の記事から自動で付きます。あなたがやるのは、吹き出しを登録することと、プレビューを見て「崩れている」か「全部OK」かを言うことだけ。コードを読む必要も、コピーする必要もありません。Claude CodeでもChatGPTアプリのCodexでも同じ頼み方です。

YOU DO

3つだけ

MINUTES

初回 約20分

COST

無料

AFTER

原稿を渡すだけ

WHY

こうなります

この手順を作った人が、実際に運用している数字です。

9種類

部品はこれだけで足りる

吹き出し・キャプション付きの枠・マーカー・ボタン・FAQ・表・リスト・余白・引用。この9種類の型集で、記事の装飾を全部まかっています。

692本

同じ型集で入稿した記事

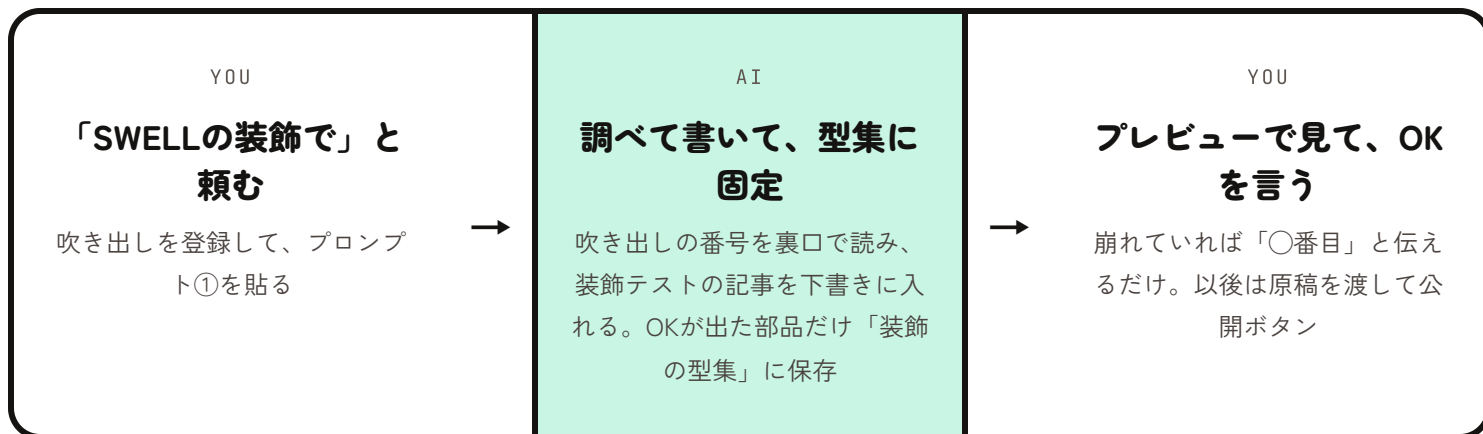
2026年9月4日時点の公開記事数。ジャンルの違う9サイトが、1つの型集を読んで装飾しています。

1回

型集を作るのは1回だけ

あとは記事ごとに、中の文章を差し替えるだけです。装飾の指示は「吹き出しを1つ、要点は枠」のような日本語で足りります。

人・AI・WordPressの分担はこれだけです。



ポイントは、**AIが自分で書いたコードのうち、あなたのサイトで崩れずに出たものだけを型集にする**ことです。AIはSWELLの装飾の書き方を知っていますが、あなたのサイトの吹き出しの番号と、SWELLの版ごとの細かい違いは知りません。だから一度テストして、通った部品だけを固定します。

用語は3つだけ

ブロックのコード

WordPressの記事は、見た目の裏で `<!-- wp:... -->` という**ブロックのコード**でできています。管理画面の右上「:」→「コードエディター」で見られますが、この手順では**AIが裏口から読む**ので、あなたは開かなくて構いません。

ふきだし

SWELLの吹き出しは、先に「SWELL設定 → ふきだし」で**キャラクターと表情を登録**し、記事の中では**番号（balloonID）**で呼びます。番号はサイトごとに違います。

型集

テストで崩れなかった装飾のコードを、名前と使いどころ付きで並べた**1つのファイル**。AIはここからコピーして使います。ここに無い装飾は使わせません。会話がかわっても消えませんが、

あなたがやるのは3つだけ

前提は、WordPressにAIが繋がっていること（別の1枚「ChatGPT（Codex）でWordPressに下書き投稿」または「AIエージェントでWordPressに半自動投稿」）。繋がっていないときは、手順3の壁にある「コードを自分で渡す道」で同じことができます。

ORDER 送る順番

手順1：SWELLに吹き出しを登録する（プロンプト無し・管理画面だけ・既にあれば飛ばす）

手順2：プロンプト①「**装飾テストを作って**」を貼る → AIが自分で調べて、装飾を並べたテスト記事を下書きに入れる

手順3：プレビューを見て、崩れていればプロンプト③「**○番目が崩れている**」。全部きれいなら「**全部OK**」 → AIが型集を保存

毎回：原稿と一緒にプロンプト②「**装飾して入れて**」を貼る → プレビューで見て公開

1

SWELLに吹き出しのキャラクターを登録する（4表情）

5分 / 管理画面 / 既にあれば飛ばす

なぜ：吹き出しは記事の中に絵が入っているのではなく、**サイトに登録した番号を呼んでいる**だけです。登録が無いと、AIがどれだけ正しいコードを書いても吹き出しは出ません。表情を4つ登録しておくと、AIが内容に合わせて選べます。**ここだけはAIが代われません**（画像を選んで登録するのは管理画面の操作のため）。

- 1 管理画面 → 左メニュー「**SWELL設定**」 → 「**ふきだし**」を開く（この画面を一度開くこと**自体が大事**。開くまでは裏側の保存場所が作られず、AIも一覧を読めません）
- 2 「新規追加」 → 名前を「**ふつう**」「**驚き**」「**自信**」「**困り**」のように表情で付け、アイコン画像を選んで保存。4つ作る
- 3 アイコン画像が無ければ、ChatGPTに「**同じ顔で4つの表情のアイコンを作って。正方形**」と頼む。**512×512のPNG**で保存してメディアにアップロード（150px未満は表示が崩れます）

✓ こうなればOK

「ふきだし」の一覧に4つ並んでいれば完了です。番号は覚えなくて大丈夫。次の手順でAIが自分で読みに行きます。

2

プロンプト①を貼って、AIに「装飾テスト」の記事を作らせる

5分 / AIとの会話 / プロンプト①

なぜ：SWELLの装飾のコードは、AIが自分で知っています（この手順を作った人も、最初は「SWELLの装飾ってわかる？」と聞く所から始めました）。ただし**あなたのサイトの吹き出しの番号**だけは知らないなので、裏口から読ませます。AIに装飾を1つずつ並べたテスト記事を作らせて、**本当に崩れずに出るか**を先に確かめます。

WordPressに繋いだフォルダ（WordPress編なら **blog**）のチャット欄に、そのまま貼って送ります。書き換える所はありません。

プロンプト①「装飾テストを作って」（書き換え不要）

このサイトのWordPressテーマはSWELLです。SWELLの装飾（吹き出し・キャプション付きの枠・マーカー・ボタン・FAQ・表・リスト）を、ブロックのコードで書けますか。書けるなら、次の順で進めてください。分からない所は推測で書かず、私に聞いてください。

1. WordPressに繋いである道具で、裏口から「ふきだし」の一覧を読む（GET /wp-json/wp/v2/swell-balloon）。番号（balloonID）と名前を控えて、私に見せる。1つも無ければ「ふきだしが登録されていません」と言って止まる。

2. 「装飾テスト（AI用）」という題名の記事を、下書きで1本作る。中身は、装飾を1つずつ、見出し（H2）に装飾の名前を付けて並べる。

- ・吹き出し（登録されている番号ごとに1つ。左向き・右向きも1つずつ）
- ・ポイントの枠（キャプション付きの枠。中は箇条書き）
- ・注意の枠（色違いのキャプション付きの枠）
- ・マーカー（文の一部に）
- ・番号つきリスト／チェックリスト
- ・表（2列×3行）
- ・ボタン（リンク先は <https://example.com>）
- ・FAQ（Q&Aを2つ）

文章は何でもよい。コードはSWELLの正しいブロック記法で、属性（波かっこの中）を省かない。枠の中の文章は必ず `wp:paragraph` か `wp:list` で包む。

3. 入れたら、管理画面で見る場所（URL）を教えて。私がプレビューを見て、崩れている装飾があれば「○番目が崩れている」と伝えます。

4. 私が「全部OK」と言ったら、その記事のコードを裏口から読み直し、装飾ごとに切り出して「装飾の型集.md」をこのフォルダに保存する。これからの記事は、この型集の部品だけを使い、中の文章だけ差し替える。

公開（publish）は絶対にしない。

✓ こうなればOK

AIがふきだしの一覧（番号と名前）を見せ、「装飾テスト（AI用）」が下書きに入り、管理画面のURLが返ってくれば手順2は完了です。

注意

AIが「**ふきだしが登録されていません**」と言う

3

プレビューを見て、崩れていれば伝える。きれいなら「全部OK」

5〜10分 / 管理画面+AIとの会話 / プロンプト③

なぜ：ここが「覚えさせる」の本番です。AIが自分で書いたコードのうち、**あなたのサイトで実際に崩れずに出たものだけ**を型集として固定します。この手順を作った人も、最初は崩れた装飾に「それは使わないで」と言って型を固めました。それを、プレビューを見て一言伝えるだけの形にしています。

- 1 AIが返したURLを開き、「**プレビュー**」で見る。見出しごとに装飾が出ているかを上から順に見る
- 2 崩れている装飾があれば、下のプロンプト③の「○番目（装飾の名前）」を書き換えて送る。AIが直して下書きを更新するので、もう一度プレビュー
- 3 全部きれいに出たら、チャットに「**全部OK**」と送る → AIが「装飾の型集.md」を保存して、一覧を見せる

プロンプト③「○番目が崩れている」（○を書き換え）

プレビューで「○番目（装飾の名前）」が崩れています。（管理画面で「想定されていないか無効なコンテンツ」と出た場合もこれを貼る）

「復旧を試みる」は押しません。その装飾のコードを見直して（属性が抜けていないか・引用符が二重引用符か・枠の中が `wp:paragraph` で包まれているか・ふきだしの番号が一覧にあるか）、下書きを更新してください。直した箇所を私に分かる言葉で教えて。

2回直しても崩れる装飾は、いったん外して、その旨を教えてください。

✓ こうなればOK

フォルダに **装飾の型集.md** ができ、AIが「吹き出し・驚き（balloonID 2）／ポイントの枠／…」のような一覧を返せば、**準備は全部です**。テスト記事は下書きのまま残しておきます（あとで装飾を足すとき、ここに足します）。

実際に起きた

管理画面で「**想定されていないか無効なコンテンツ**」と赤く出る

注意

2回直しても**崩れる装飾がある**（コードを自分で渡す道）

注意

装飾を**盛りすぎる**と、記事が読みにくくなる

注意

プラグインの装飾は**SWELLの型集に入れない**

毎回の頼み方（設定が終わったら、これだけ）

原稿（ふつうの文章で構いません）をチャットに貼って、その下にこう付けます。文体を覚えさせたい場合は、好きな記事を2〜3本先に渡して「この文体で」と一言添えます。

プロンプト②「装飾して入れて」（書き換え不要）

上の原稿を、「装飾の型集.md」の部品だけを使って装飾し、下書きで入れて。

装飾のルール：

- ・見出し（H2）の最初か最後に、吹き出しを1つ（表情は内容に合わせる。2つ続けない）
- ・要点は「ポイント」の枠、注意は「注意」の枠。1つの見出しに枠は1つまで
- ・大事な一言はマーカー。1段落に1か所まで
- ・手順は番号つきリスト、比べるものは表
- ・最後にFAQを3問（FAQのコードは型集のまま。属性を消さない）

入れたら管理画面のURLを教えて。公開はしないで。

- 1 AIが返したURLを開く（または「投稿 → すべての投稿 → 下書き」）
- 2 「プレビュー」で見る。吹き出しの表情や枠の場所を変えたければ、AIに「2つ目の見出しの吹き出しは『困り』にして」のように言う
- 3 納得したら「公開」を自分で押す

✓ こうなればOK

テスト記事と同じ見た目の装飾が、原稿の内容に合わせて付いていれば成功です。2本目からは、装飾の指示は要りません。「型集で装飾して下書きに」の一言で同じ形に仕上がります。

SEE

できたものはどこで見られるの

見たいもの	場所
型集	WordPressに繋いだフォルダの中の 装飾の型集.md 。AIに「型集の一覧を見せて」と言えばチャットで見られます。開いて編集しても構いませんが、コードは触らないほうが安全です
テスト記事	管理画面 → 投稿 → 下書き → 「装飾テスト（AI用）」。装飾を足したいときは、AIに「テスト記事に〇〇を足して、型集も更新して」
吹き出しの番号	「SWELL設定 → ふきだし」の一覧。型集の最初にある対応表と同じ並びです
装飾が崩れていないか	下書きの「プレビュー」。赤い帯（無効なコンテンツ）が出たらプロンプト③



これだけは気をつけてください

取り返しがつかないことと、崩れる原因

- **テスト記事は公開しない。**タイトルに「（AI用）」と入れて、ずっと下書きのままにします。
- **「復旧を試みる」を押さない。**WordPressが勝手に直すと、装飾が消えることがあります。プロンプト③で型集と比べて直します。
- **型集に無い装飾を頼まない。**頼むとAIがその場でコードを作って崩れやすくなります。使いたくなったら、先にテスト記事へ足してプレビューで確かめます。
- **公開中の記事を装飾し直すときは、いったん下書きにコピーしてから。**読者に見えている記事を直接書き換えません。



ほかのやり方と、正直な比較

やり方	向いている人	この手順との違い
この手順（AIが書く → テストで確かめる → 型集に固定）	装飾付きの記事を続けて出す人	人が作るものは無い。崩れた所を一言伝えるだけで、以後は原稿を渡すだけ
毎回「SWELLの装飾で書いて」と頼む（型集なし）	試しに1本だけの人	1本目は同じ。ただし会話が変わると直した所を忘れ、同じ崩れが再発する。吹き出しの番号も毎回教える必要がある
自分で見本の記事を作ってコードを渡す	WordPressにAIを繋いでいない人／どうしても崩れる装飾がある人	確実だが、管理画面で装飾を1つずつ作る手間がある。手順3の壁に書いてあります
装飾を自分で後から付ける	月1本の人	AIは文章だけ。1本ごとに管理画面で10～20分の作業が残る

MONEY 費用

この手順自体は**無料**です。必要なのは、SWELL（購入済みのはず）と、AIエージェント（Claude CodeかChatGPTのCodex）が使える契約だけ。追加のプラグインは要りません。

Q&A よくある疑問

Cocoonなど別のテーマでも？

「AIに書かせて、テストで確かめて、型集に固定」の考え方は同じです。プロンプト①の「SWELL」を自分のテーマ名に変えてください。SWELLの型集は使い回せません。

文体も覚えさせたい

読みやすいと思う記事を2〜3本、URLか本文で渡して「この文体で。1文を短く、1段落は1〜2文」と頼みます。型集（見た目）と文体（書き方）は別々に覚えさせるほうが、あとで直しやすいです。

吹き出しの絵はどう作る？

ChatGPTに「同じ顔で、ふつう・驚き・自信・困りの4表情。正方形のアイコン」と頼んで、512×512のPNGで保存します。この手順を作った環境では、150px未満の画像はSWELLの吹き出しで崩れました。

型集に装飾を足したい

AIに「テスト記事に〇〇（例: 引用の枠）を足して、プレビューを教えて」→見てOKなら「型集も更新して」。テスト記事に足す形なので、いつでも増やせます。

すでに公開している記事を装飾し直せる？

できます。ただし直接ではなく、「この記事を下書きにコピーして、型集で装飾し直して」と頼み、プレビューで見てから公開中の記事に反映します。

Claude Codeと ChatGPTの Codex、どちらで も？

頼み方は同じです。この手順を作った環境ではClaude Codeで9サイト分を動かしています。ChatGPTアプリのCodexで型集を作る所は未検証なので、最初の1回は渡した人と一緒に。

CHEAT

裏で動いているもの

覚える必要はありません。「何が動いているか知りたい」ときだけどうぞ。

やりたいこと

裏側

見本のコードを読む

`GET /wp-json/wp/v2/posts/記事ID?context=edit` の `content.raw`
(合鍵が要る。見た目のHTMLではなくブロックのコードが返る)

吹き出し

`<!-- wp:loos/balloon {"balloonID":"2"} -->`。番号は「SWELL設定 → ふきだし」の登録順

キャプション付きの枠

`<!-- wp:loos/cap-block {"dataColSet":"col1","className":"is-style-inner"} -->`。中の文章は必ず `wp:paragraph` か `wp:list` で包む

FAQ

親 `wp:loos/faq` と子 `wp:loos/faq-item`。属性を省くと無効ブロックになりやすい

ボタン

`wp:loos/button` (色・サイズ・`is-style-btn_shiny` などの形は属性で決まる)

この手順を作った人が「SWELLの装飾ってわかる？」とAIに聞く所から始め、崩れた装飾に「使わないで」と言って型を固め、2026年6月から9月にかけて9つのSWELLサイトの記事を1つの型集(9種類の部品)で入稿してきた記録から作成(2026-09-11)。

人がやるのは「吹き出しを登録する」「プロンプト①を貼る」「プレビューを見てOKを言う」の3つで、調べる・書く・型集に固定する・入稿はすべてAIが行います。ChatGPTアプリのCodexでの型集づくりは未検証です。